

《その2》 基本計画（主要事業）6分野172項目に関する総評

基本計画（主要事業）172項目に対する各所管課の評価結果を見ると、下表のとおりとなっている。

評価区分	項目数	割合（率）	
A 達成済	4項目	2.3%	81.4%
B 計画以上に進んでいる	14項目	8.2%	
C 計画どおり進んでいる	122項目	70.9%	
D 計画より遅れている	31項目	18.0%	18.6%
E 未着手、未実施	1項目	0.6%	
合計	172項目	100%	100%

主要事業172項目中、達成か計画以上に進んでいるもの（評価A・B）が10.5%、計画どおり進んでいるもの（評価C）が70.9%となっており、計画どおり以上のものが81.4%となっている一方、計画より遅れているものは、未着手のものも含め（評価D・E）18.6%となっている。

少し見方を変えれば、5か年の計画期間のうち、2年間で過ぎた時点で、99.4%の事業に着手しているものの、計画が遅れているものが、18.6%あるということであり、少し多いという気がする。

以下、各評価を見ながら感じたことを評価区分ごとに記載するが、各事業とも今日的課題（求められる内容の変化等）をよく認識しながら、不断の努力を払ってほしい。

まず、達成済みのものについては、重点課題のところでも触れたが、制度の創設や機器の購入等については、目的はそれがもたらす効果であり、そのこと意識しながら事業を展開する必要がある。

次に、計画どおりに進んでいる（評価C）とされたもののうち、建物の建築や道路整備などのハード事業、実施計画を定めているものなどを除く、人づくり等のソフト事業の多くは、常に改良・改善を考えながら実施していくことが肝要だと考えている。なお、C評価の中に、具体的な協議・提案などの動きに欠け、実際には前進していない事柄も見受けられる。具体的な取り組みの推進を。

最後に、計画より遅れているもの（評価D）の中には、いろいろな努力をしながらも計画達成に至らないもの、より積極的な取り組みが求められているもの、放置により動いていないものがある。後段の二つについては、業務点検を行いながら何をすべきかを考え、目的達成に向けたシナリオ（工程表）を書き、事業の進展を図ることが必要だと思う。